

優しさを伝える 認知症のケア技法

# ユマニチュード®

ユマニチュード®とは認知症の人とのコミュニケーションに有効なケア技法です。認知症の人を支えるとき「あなたのことを大切に思っています」と相手が理解できるように伝えることが効果的とされ、そのための4つの柱として「見る」「話す」「触れる」「立つ」という基本要素があります。フランスで生まれたケア技法ですが、日本の認知症ケアの現場などでも導入されるようになり、信頼関係を構築する技法として注目されています。ユマニチュードを学んで、認知症の人にも優しいまちをつくりましょう。

日時

**1月24日(土) 午前10時**開演

場所

プラム・カルコア太宰府 市民ホール  
(太宰府市観世音寺1-3-1)

テーマ

優しさを伝えるケア技術 ユマニチュード®

講師

やすたけ すみお

**安武 澄夫さん** 作業療法士

ユマニチュード®認定チーフインストラクター

(南福岡脳神経外科病院 リハビリテーション部 副部長 兼  
医療教育部 ユマニチュード推進担当)

要約筆記・手話通訳あり  
参加費無料 予約不要



ユマニチュード®とは「人間らしさを取り戻す」という意味をもつフランス語の造語です。誰もがなる可能性がある認知症。認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を持って暮らせる社会の実現を目指すため令和6年1月に「認知症基本法」が施行され、太宰府市においても「地域で支えあい高齢者が安心していきいきと暮らせるまちづくり」を目指しています。みんなで学び、考え、実践していきましょう！



お問合せ

太宰府市高齢者支援課包括支援センター係  
☎092-929-3211 FAX092-929-3206